

山形市PTA連合会 総会 教育長あいさつ

ただいまご紹介にあずかりました、山形市教育委員会委員長の金沢智也です。3月末での荒澤教育長のご退任により、この4月より教育長を拝命いたしました。3月までは、山形市立第二中学校の校長として勤務し、昨年度はオンラインにてこの会に参加させていただきました。元は中学校の教員であります、どうぞよろしく願いいたします。山形市PTA連合会総会の開催にあたり、代表して一言ごあいさつを申し上げます。

はじめにですが、船橋吾一会長をはじめ、PTA連合会の皆様方におかれましては、日頃より、学校・家庭・地域社会の連携の要としてご尽力・ご活躍いただくとともに、学校教育の振興と児童生徒の健全な成長のために、様々な活動に取り組んでおられますことに対しまして、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。本当に、ありがとうございます。

そしてまた、本日までご出席の皆様方、更には市内約二万人の児童生徒の保護者の皆様には、これまでの新型コロナウイルス感染拡大防止対策を踏まえた中で、市内小中学校での教育活動の中止や延期など、様々な学校運営や教育課程の変更等に関して、ご理解とご協力そして学校を支えていただき、心より感謝申し上げます。

さて、全世界に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の流行から、約二年半が経過しました。この間、市内小中学校では、子どもたちの感染防止と安全の確保につきまして、新しい生活・学習様式の中で感染症対策の徹底を図りながら、それぞれの状況に応じた教育活動を進めてまいりました。また、子ども達の今までとは違う学校生活への戸惑いや心身への影響も考え、教職員が児童・生徒一人一人と寄り添い、表からは見えにくい内面についても心を配りながら、これまで以上に子ども達をしっかりと見て声をかけて指導にあたってきているところです。

そういった中で、昨年度も感染拡大の波は留まることを知らず、学年・学級閉鎖や学校臨時休業等を余儀なくせざるを得ない状況がみられました。現在、小学生も含めてワクチン接種が進んでおり、その効果も出てきているようですが、閉鎖・休業なども続いており、保護者の皆様のご理解とご支援がまだまだ必要であると、重ねてお願いを申し上げます。なお、心配なことや気になることがございましたら、教育委員会も学校もお教えいただければ幸いです。

最近になってですが、国でのマスク不要論が大きな話題として新聞やニュース等で取り上げられていますが、会話を行わない・身体的な距離の確保ができる状況でのマスク不要のようです。山形市としましては、今後もできるだけ適切な感染防止策を続けながら、日

常の教育活動の実施を進めて参りたいと考えているところです。

地域社会、そして私たち大人には、次代を担う子どもたちの、それぞれの夢の実現に向けた成長をサポートする責務があります。そして、子どもたちが困難に負けず、笑顔で強く生き抜く勇気と逞しさを育てなければならないと思っています。今後とも、子どもたちの学びを止めない、学びを保障していく、そのための学校支援や学校への指導助言を、教育委員会としましても最大限の努力をしてまいりたいと考えております。

結びになりますが、今年度は8月に「第70回日本PTA全国研究大会の山形大会」が予定されていると伺っています。山形市PTA連合会が中心となって、これまで多くの時間をかけてご準備され、そして、26・27日の二日間での県内全域での開催当日の企画運営など、これからはまた慌ただしい時間が想像されます。私自身も、ユーチューブでのPR動画を拝見いたしました。自然豊かな山形の良さを約4分30秒の内容に美しくまとめられ、大会成功への期待が一層膨らんでいるところです。

日本PTA全国研究大会山形大会の大成功、そして各単位PTA並びに、山形市PTA連合会の益々のご発展と、ご参会の皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

令和4年5月26日 山形市教育委員会教育長 金沢智也